

## 17 負荷した $B_1$ および Cocarboxylase の代謝について

奈良学芸大 田附 きつ

負荷された  $B_1$  の代謝については多くの報告はあるが私は  $B_1$  および Cocarboxylase (以下 Coc と記す) を上膊皮下に負荷しその尿中に排泄される  $B_1$  を時間を追うて測定し、その代謝過程と摂取食品について観察した。

試料としては健康な女子青年 A を対照とし、比較的倦怠感を覚える  $B_1$ , C および成年女子 D を選んだ。

Coc の負荷には純度 90% の製品を用いた。尚夫々普通食とし、他の条件も一定にした。

$B_1$  の定量法は藤田氏のパームチット・チオクロム法によった。夫々に  $B_1$  および Coc を 1.25~5 mg を上膊皮下に負荷し、10, 20, 30 分, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 時間と  $B_1$  量を測定した。

その結果  $B_1$  5 mg 負荷後 8 時間迄に排泄された尿中  $B_1$  量は B, C は A に比較して著しく少く、D は A より多く排泄され、Coc 5 mg の場合には B, D は A より少く、C は 1.25 mg の場合は A より多く尿中に排泄されるが、一般に Coc は  $B_1$  負荷にくらべて少い。時間的に  $B_1$  の排泄量を見ると  $B_1$  は 10 分後にすでに著明に尿中に排泄されるが Coc は 10 分後から漸次上昇し 30 分前後で最高値を示す。尚通常 24 時間尿  $B_1$  量は B, C, D は A に比較して一般に少く、従って体内の需要量も B, C, D は A より多いものと思われる。然しこの際 A 及び B は或時間に尿中  $B_1$  量は少い。その一因は摂取食品の  $B_1$  含量に影響するのではないかと考えた。